

C. 年齢別

年齢	件数 (%)
40代	41件 (42.7%)
50代	23件 (24.0%)
60代	15件 (15.6%)
30代	11件 (11.5%)
20代	6件 (6.3%)

D. 経験年数別

経験年数	件数 (%)	備考
1年以上5年未満	24件 (25.6%)	5年未満38件 (40.2%)
1年未満	14件 (14.6%)	【平成27年は52.7%】
5年以上10年未満	17件 (17.7%)	
10年以上20年未満	17件 (17.7%)	
20年以上30年未満	15件 (15.6%)	
30年以上	9件 (9.4%)	

※「5年未満」までの災害が多くなっておりませんが、前年からは大幅な減少となりました。

※一方、「20年以上」（熟練者）の災害が増加しております。

2 労働災害防止に向けて取り組みについて

増加傾向が続く労働災害防止に向けては、日頃から、事業場トップの強いリーダーシップのもと「安全第一」を最優先の課題として従業員への指導教育を実施するとともに、従業員一人ひとりが強い意識をもって取り組むことが大変に重要です。

その中でも、特に、労働災害の発生件数が多い「墜落・転落」災害、「転倒」災害防止を図ることが、陸運業における災害発生件数の減少に直結することから、これら労働災害の防止対策に、より一層、取り組んで頂きますよう、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

(1) 「墜落・転落」災害の防止について

A. 現状

陸運業における「墜落・転落」による労働災害は、労働災害の中で一番多く発生しており、トラックに起因しての発生も非常に多い現状にあります。

このように、「墜落・転落」災害防止対策は陸運業として真っ先に取組まなければならない内容といえます。

B. 具体的な災害事例

性別	年代	経験	災害発生の概要	被災程度
男	40代	20年以上 30年未満	集荷先でトラックから降りる際、足を捻った。	3ヶ月以上 6ヶ月未満
女	50代	5年以上 10年未満	トラックの荷台の掃除をするため、はしごを使い荷台に上がろうとして、足を踏み外し1.4m下に落ちた。	2週間以上 1ヶ月未満
男	40代	1年以上 5年未満	納品先で納品後に、階段から降りる際に左足が滑り落下して足をひねった。	1週間以上 2週間未満

C. 特に実施して頂きたい内容

- ・荷台への昇降は昇降設備を使用する。(荷台から安易に飛び降りない。)
- ・何か手に持ったの昇降は行わない。(「3点確保」)
- ・トラック(荷台)周辺の着地場所(凹凸等)を事前に確認する。
- ・後ろ向きでの作業をしない。(後ずさりしない。)